

2011年度 清教学園中・高等学校 学校教育自己評価報告

清教学園中・高等学校では、学校教育法および同施行規則に従い、学校教育自己評価を行いました。調査結果に基づく自己評価の概要を報告いたします。

本校では、マークシート形式による自記入式アンケート方式により、生徒、保護者、および教員を対象として2011年11月21日から同年12月3日にかけて調査を行いました。また、自己評価報告書は、2012年3月31日の理事会および評議員会に提出され、検討と承認を受けました。

今回の調査では、生徒・保護者の満足度、および教員の意識を客観的に把握するとともに、改善策を具体化することにより、調査結果をいっそう適切に生かせるよう心がけました。皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

* 評価内容の概要、および今後への取り組み *

◎教育内容

【学園の教育理念】

創立60周年であった2011年度は建学の精神について語られる機会も多くありましたが、中高とも、生徒たちの間での浸透という点では少し厳しめの評価でした。ただし、学園の教育理念に基づいた教育活動への理解という点では、85%を超える生徒・保護者が「充実した学園生活を送っている」・「学園で学ぶことに誇りを持っている」と回答し、高い評価を得ています。今後も、生徒たちの心に響く伝え方に工夫を加え、建学の精神に関する理解度の向上に努めてまいります。

【学習指導】

中高各教科とも、引き続き概ね良好な評価を得ています。実験や資料活用を伴う理科や社会への評価も高いのが特徴的です。また、全学年での夏期セミナーの実施が定着した高校部においては、「学校の勉強で十分な学力がつく」・「面倒をよく見てくれる」という点でも評価結果のさらなる向上が見られ、教科教育の質的向上を実感してもらっています。今後も、教材研究や授業方法の工夫、および適切な人員配置を通じて、生徒たちの学力向上と学ぶ意欲の促進のために教員全員で努力してまいります。

【心の教育】

中高双方において生徒・保護者からの評価が高く、キリスト教主義の本校が何を大切に考えて教育に取り組んでいるか、よく理解していただいている証しと言えます。今後も、「他者への思いやりが育っている」という評価をいただけるよう、心豊かな生徒の育成に真摯に取り組んでまいります。

【進路指導】

中高とも数値上は評価が高まった形にはなっていないものの、大学教員の出前授業や卒業生による進路講演会、PTAによる職業紹介誌「Navi」の発行やNaviゼミの開催など、本校独自の有意義な指導・企画を今後も継続し、生徒がより早い段階から明確な夢や目標が持てるように工夫を重ねてまいります。その意味でも、中学部における生徒の意識喚起については、さらなる充実化を図りたいと考えています。

【特別活動・生活指導】

本校では、あらゆる学校行事において、リーダーシップ・協調性が育まれるよう、生徒たちが主体的に取り組める工夫を重ねています。それは、生徒からの評価の向上、また保護者の約90%からの理解という形で実りを得ています。また、部活動との両立についても、高校部において幾分かの課題は残すものの、中学部では着実に評価が高まっています。そのほか、マナーや美化意識等の向上、いじめや暴力のない学校づくり、生徒へのきめ細かな対応という点でも概ね高い評価が得られ、学園の生活指導への理解が示されています。今後も、保護者との連携を大切にし、さらに高いレベルでの指導を続けてまいります。

◎生徒支援

書籍の貸出数が府内トップを誇る本校の図書教育には、中高とも高い評価が与えられています。これは、自主的な学びの基本を習得できる環境があると認められていることの反映であると捉えられます。また、国際交流については、積極的な情報発信を行い、評価結果が改善されました。保健教育を通じた健康意識の向上についても、保健だよりの発行等を通じて、高く評価されています。そのほか、自習室の充実化、電子黒板を利用した授業力の向上といった学習条件の改善についても、その効果に概ね高い評価をいただいています。ただ、トイレや食堂の整備にはまだ課題も残っており、引き続き各種の対応を進めてまいります。

◎学校運営

家庭との連絡・意思疎通を図るという点については改善の余地が残っており、生徒・保護者との信頼関係をより高められるよう、細やかな対応に引き続き努めてまいります。また、広報誌やウェブでの情報発信については、中高バランスの改善を図り、教育内容や活動への理解が進むように工夫いたします。

<よりよい学校づくりのためのアンケート結果>

「よく当てはまる」「やや当てはまる」という肯定的回答の割合（％）

	教育内容						生徒支援	学校運営
	建学の精神が生徒に浸透している	興味関心を引き出す授業が多い(5教科平均)	宗教・人権教育が重要視されている。	将来の進路・職業の適切な指導を行っている	学校行事には生徒は積極的に参加できる	規則遵守や美化意識等の向上が見られる	図書館教育は知的関心を高める	教員は指導熱心で、家庭と密に連絡している
中学生	58.8	73.0	78.2	65.3	89.5	84.6	78.6	75.4
高校生	47.7	67.7	74.9	67.2	55.9	78.7	52.0	66.3
中学保護者	88.4	78.8	93.4	73.4	96.3	86.9	87.7	76.8
高校保護者	80.6	79.5	90.3	82.1	85.8	86.5	80.6	77.6

*中学生のみを対象とした「電子黒板は学習理解を深める」の項目には82%が肯定的回答

◆今後に向けての取り組み◆

【教育内容】

- ・入学時のオリエンテーションや礼拝で積極的に、建学の精神について触れていく。
- ・教科教育の質的向上のために、教科内での授業参観はもちろん、積極的に外部研修に参加し情報の共有化も図る。
- ・リーダーシップを育てるための学校行事運営、マナー、美化意識の向上を図る。
- ・生徒に夢や目標を与える進路プログラムの実施（大学教員の出前授業、卒業生講演等）と生徒参加の工夫を行う。
- ・学習と部活の両立ができるように配慮する。

【生徒支援について】

- ・教員一人ひとりがカウンセリングマインドを身につけるための研修を行う。
- ・図書館の利用率アップのための工夫を行う。

【学校運営について】

- ・学園HP、広報誌の充実化を図り、学園の情報を積極的に発信する。
- ・不審者から生徒の身を守るために見回り等最善の努力をする。

以上